

データ分析を使用して不正行為を阻止および検出するための5つの手順

Usama Jamal

Tableau 内部監査担当マネージャー

Angie Sullivan

Tableau 内部監査担当ディレクター



概要

不正行為の手法はますます洗練され複雑になっており、従来の不正対策の先を行く機能を備えるようになっていきます。社内外を問わず、不正実行者、つまり企業に対して不正行為を働く者は、組織から搾取するための新しい策略を生み出し続けています。このようなシナリオには、ベンダーの不正行為、従業員経費の不正行為、財務諸表の不正行為、贈収賄、資産の横領などが挙げられるでしょう。

公認不正検査士協会 (ACFE) の『[2018 年版国民への報告書](#)』(英語) によると、予防的なデータ監視を実行している組織は、実行していない組織と比べて不正行為を 58% 早く検出しており、損失額も 52% 低くなっています。この数字が示すように、データを理解し効果的に分析すると、不正行為の防止と検出に対する組織の取り組みに大きなメリットをもたらすことができます。

しかし、どこから始めれば良いのでしょうか? 世界のデータ量は急激に増え続けており、そのデータを利用すれば、異常なパターンや警戒すべき情報を迅速に検出することができます。しかしこれまで、従来の監査手法やサンプリングだけでそれを行うことは不可能でした。経営陣と監査チームが、以前は検出できなかった可能性のある不正行為のパターンを検出するには、さらに強力な分析プラットフォームが必要です。データ分析を利用して不正行為の防止や検出を行い始めたばかりの組織やグループにとっては、時間がかかる作業に見え、不可能だとすら思えるかもしれません。しかし、決してそうではありません。

このホワイトペーパーでは、不正対策プログラムの一環としてデータ分析環境を導入するのに役立つ、5 段階の計画をご紹介します。

1. 不正行為のリスク要因を特定する

組織の不正対策リスクプログラムの文書化や見直しから始めます。この作業の一環として、次の関連する課題を検討してください。

- 組織に関係する不正行為のリスクはすべて特定されましたか?
- 不正行為のリスクに優先順位を付けましたか?
- 優先順位を付けた不正行為のリスクに対して、組織は管理策やビジネスプロセスを割り当てましたか?
- 不正行為の防止で、過去にどこで管理策が失敗しましたか?

こうした課題に答えを出し、不正行為のリスクの特定、評価、優先順位付けが終わり次第、軽減管理策が存在または実施されているかどうかを評価します。

2. 不正の手法の影響を受けやすい領域を特定する

不正行為のリスク要因を特定し終えたら、より効果的な計画を策定するために、可能性がある不正の手法やシナリオについてブレインストーミングを行います。不正の手法例には、次のようなものがあります。

- 従業員の個人的な出費を、出張費と経費の精算により会社の経費として請求する
- 給与計算のために勤務時間の情報を提出する際、勤務時間数や時給額を水増しする
- 行政機関の検査や認可でリベートの支払いや贈賄を行う
- 個人的利益のために、顧客に対してクレジットによる割引を行ったり顧客とリベートを分け合ったりする
- 個人的利益のために、同一のベンダーに対して同一の物品やサービスの請求書を複数作成し、払いすぎや2重払いを起こさせる

3. 適切なデータソースを理解する

不正行為のリスクの可能性がある領域と不正の手法を特定した後、社内全体の関係者と協力して、データをいつどこから収集するかを理解しましょう。潜在的な不正の手法に関して分析からインサイトを得るのに役立つ可能性がある、適切なデータソースを見極めてください。また、そのデータはどこにどのような形式で保存されているか、データのアクセス方法とソースシステムから取得する方法、取得の作業を自動化できるか、分析に備えてデータの集計と準備が完了しているのかも確認する必要があります。

4. データの組み合わせ、マッチング、分析を行う

一般的に、データセットを単独で再検証しても最大限の成果は得られない可能性があります。そこで、データセットを組み合わせることで複数のデータセットで効果的に分析を行えば、不正行為を検出する能力が手に入ります。好例を挙げると、売上データを該当する従業員の出張費や経費の詳しい情報と組み合わせれば、営業案件に影響を与えることを目的とした不正な贈収賄や贈答の可能性が浮かび上がるかもしれません。

パターンや外れ値をスピーディに把握するための一手法として挙げられるのは、こうしたデータの視覚化です。その過程で警戒すべき情報、不正行為、怠慢を検出するのに利用できる分析手法には、他にどのようなものがあるでしょうか? 特定のデータセットを利用してリスクや不正行為を検出する際に、最も信頼性が高いのはどの分析手法でしょうか? たとえば出張費と経費のデータを分析する場合、規定違反や、会社の経費として精算書が提出された個人的な出費を検出するには、経費の種類、金額、地域に基づいて外れ値を探すと効果的かもしれません。

最も効果的なデータ処理方法として1つ挙げられるのは、データの複数のビューを関連付けて1つの Tableau ダッシュボードを作成することです。たとえば小売企業であれば、顧客のデモグラフィックをヒートマップに示した散布図を追加して、そのデータに購入数と関連付けられた製品種別を組み合わせます。このようなさまざまなデータポイントを1つのダッシュボードで表示すると、不審なパターンがさらにはっきり見えるようになります。

5. インサイトを共有してアラートのスケジュールを設定する

不正行為、規定違反、管理策の不備や破綻を検出した場合、その情報を経営陣に伝えて、規模に応じた継続的な監視を行うための分析環境を導入する方法を判断します。今後、どうすれば不正行為を防止できるでしょうか? どうすれば、関係者に不正行為検出の取り組みを支える能力を提供できるでしょうか? 不正行為を報告する手段がありますか?

Tableau には、データドリブンアラートの設定という効果的な監視手段があります。たとえば、一定のしきい値 (5,000 ドルなど) を超えるフライトが予約された場合、チームに通知が送られるようにしたいとしましょう。そのしきい値をデータドリブンアラートとして設定すると、監視の業務を担っているチームに通知メールを自動送信することができます。この方法によって、組織の主となる防衛手段と副次的な防衛手段が改善され、不正行為の防止や検出を行うための経営陣の管理策が強化されます。

強力な分析プラットフォームを活用し、不正行為検出プログラムにこの 5 段階の計画を導入すれば、不正行為の理解や特定、防止が可能になるだけでなく、スピードアップと社内全体への規模拡大も図ることができます。

管理された柔軟なプラットフォームで強力な分析を実現する方法については、[Tableau 財務分析](#)ソリューションページをご覧ください。

Tableau について

Tableau は、情報から意味を引き出す手助けをします。分析のサイクルをサポートし、ビジュアルなフィードバックを提供し、複雑さの高度化にもかかわらず質問の答えを導き出せる分析プラットフォームです。データの力によるイノベーションを望むなら、新しい質問を問いかけてリパースペクティブを変えるために探索を継続させるアプリケーションが必要です。インパクトを生み出すデータを活用したいとお考えの方は、今すぐ Tableau Desktop の[無料トライアル版](#)をダウンロードしてください。

リソース

[製品デモ](#)

[トレーニングとチュートリアル](#)

[コミュニティとサポート](#)

[カスタマーストーリー](#)

